



平成18年度 定期総会を開催

去る4月28日 ほっとサロンにおいて、平成18年度鳳和會「定期総会」が開催され、前年度の各報告の他意見交換等を行いました。

主な議事及び内容については下記のとおりです。

1. 平成17年度 活動報告

6/26(日) 会員、賛助会員及びそのご家族との親睦を目的に、レクリエーション行事として千葉のマザー牧場に行きました。バーベキューや牛の乳搾りに昼寝？をしたりして参加者からは大変好評でした。

9/3~4 昨年の祭礼は天気が不安定で土曜日の渡御は生憎の大雨でしたが、日曜日の連合渡御中は何とか雨も降らず無事に終わられたのは幸いでした。

その他、ふるさと祭り、もちつき大会などの町会行事のほか、毎月古紙回収に協力しました。

2. 平成17年度 収支決算報告及び監査報告

昨年度はレクリエーション行事(約18万円)を行ったほか、特に備品の購入等による大きな支出はなく、例年通りの決算となり、約82万円(前期繰越金を含む)の繰越金がありました。会員数は昨年積極的に勧誘したため、120名(H16年度は109名)と増えています。

今年の4/22日に会長及び副会長の立会いのもと、会計監査により厳正なる審査を受けましたが、決算内容に関しては適正であると承認を得ました。

3. 平成18年度 活動計画

6/25(日)に会員親睦を目的としたレクリエーション行事を行うことが承認されました。

8/20(日)祭礼用フラッグの取り付け

今年の祭礼は、9月2日・3日です。

恒例の会員・賛助会員の親睦旅行を行うこととしましたが、日程は未定です。

4. 平成18年度収支予算

今年度は連合の当番でもなく、予算は前年どおりとする旨承認を得ました。

5. 役員改選の件

森口副会長から辞任の意向と後任に現浦野幹事を推薦したいとの提案を受け、執行部会で検討した結果適当であると認め、総会に諮りましたが満場一致で承認、選出されました。また浦野9部幹事の後任には、古宮隆広さんが任命されました。

平成 18 年度の役員は以下の通りです。何か問い合わせ、要望などがありましたら気軽に声をかけて下さい。

役 職	氏 名	役 職	氏 名
名誉会長	三 瓶 恭 生	幹事(1部)	遠 藤 昭 次
会 長	佐 藤 眞 一	"	西 山 幸 男
副会長(会計兼務)	市 川 努	幹事(2部)	中 島 政 雄
"(事務局長兼務)	高 橋 幸 雄	幹事(3部)	南 波 行 則
副会長	古 宮 明	"	松 谷 東 一
"	高 橋 則 一	"	大 木 正 一
"	三 瓶 恭 行	幹事(4部)	佐 藤 米 蔵
"	浦 野 環 樹	幹事(5部)	森 口 益 君
監 査	大 越 守 俊	"	佐 藤 利 明
相 談 役	堀 口 紀 之	幹事(6部)	大 高 一 浩
"	時 田 敬 三	幹事(7部)	三 瓶 智 規
顧 問	長 村 昭 三	幹事(8部)	佐 藤 厚
"	古 宮 衛	幹事(9部)	平 野 忠 宏
		"	古 宮 隆 広



例年は祭礼の前日(金曜日)に神輿の組立てを行っていましたが、平日では仕事の関係で参加したくてもできないといった意見を受け執行部会で検討した結果、将来的な要員の確保および組立て技術の継承ということを考慮して、今年は祭礼当日の土曜日(9/2)の9時から行うことになりました。興味のある方、協力できる方など多くの方の参加をお待ちしています



レクリエーションの企画が決定しました!

鳳和會では、来る6月25日(日)に会員親睦を目的としたレクリエーションを企画しています。今年度のレクリエーションは、西多摩にある 太陽とみどりのまち「日の出町自然休養村」で、大自然の中、ニジマス釣りやバーベキューをして楽しみたいと企画しました。

ご本人はもちろんのこと、家族や友人など、どなたでも参加できます。

特に若い人の参加は大歓迎! 詳しい内容と申込み方法は別紙ご案内をご覧ください。



両社祭に参加している他の神輿会について

豆知識

その1

小山五丁目「五友會」

神輿をつくる母体となったのは、ある町会役員が若手育成を目的に始めた「夜警」に集まってきた青年たちであった。彼らが「つくろう会」を結成し、1975年に寄付を募って神輿を新造する。製作はその町会役員の戦友で浅草宮本において修行した木更津の職人が行った。

この町は震災後に急激に人口の増えた地域で、当時の役員層がちょうどその頃に移住した最初の世代であった。これに対して神輿の担ぎ手の主体となったのが、ちょうどその子供世代にあっていた。つまり戦後生まれの第二世代で、この町をふるさととして育った最初の世代と考えられる。

また、小山5丁目の町内には三谷八幡神社が位置しており、5丁目はいわゆる「宮本町会」にあたっている。現在では夏の祭り以外に大晦日にも神輿を出す（「除夜祭」）ことになっているが、それまで閑散としていた三谷八幡の初詣が、今では長い行列ができるほどになったという。また三谷八幡と小山八幡の氏子の境界が町内の通りを境にしているため、5丁目だけは両方の氏子が含まれている。そのため5丁目の神輿は祭礼の際に、両方の神社に宮入りすることになっている。

品川の海の方にはいろいろな祭がある。それに負けない城南の代表的な祭にしたい。そんな思いが「両社祭」を盛り立てる中心的な役割を果たしてきたのである。

小山4丁目「鳳友會」

小山4丁目ではかつて暴れていたために封印されていた大人の神輿が稲荷神社に保管されていた。それが1977年頃から再び町会の神輿系の青年たちを中心に、また担ぎたいという声が出たが、修理にお金がかかるということで、最初は7名で「神輿を作ろう会」を結成し新造することとなった。最初のメンバーは当時30代前半で、そのほとんどが町内で何らかの事業をしていた。当初、町会はあまり協力的ではなく、若い者ができるならやってみろという態度だったそうで、しかたなく手分けして一軒一軒を回って寄付を集め、かなりの原資が集まったところで、やっと町会にも認めてもらうこととなった。発注先は小山5丁目と同じ、宮本で修行した木更津の職人さんだった。

こうして1980年に御披露目を挙行し、同じ年三谷八幡神社の三百年祭で小山5丁目と連合渡御を行った。神輿の完成後、これを町会に寄贈して「作ろう会」は役目を終えるが、このまま解散してはもったいないという声が出て、「鳳友会」が結成される。

現在は出していないが、手古舞や弓張連を最初にはじめたのは小山4丁目だそうで、祭りを盛り上げるうえで他の町との競い合いがよい刺激になってきた。

武蔵小山商店街パルム「神輿會」

パルムの「神輿会」だけが、町会ではなく商店街の振興組合を母体としている。

武蔵小山商店街は、町会でいうと3つの区域にまたがっているのも、どこかの町会に寄付するわけにもいかなかったらしい。もともとは商店街のイベントである天狗祭りに、神輿好きの人たちが神輿を借りてきて担いでいたのが始まりで、小山5丁目や4丁目で神輿を作ったのを聞いて、自分たちの神輿がほしいという話になった。ちょうど商店街の理事が替わって、天狗祭りのパレードが廃止になったこともあって、まずは商店街の段ボール集めをして原資を作り、振興組合に持ち込んで奉加帳を回して寄付を募った。やはり木更津の職人に発注している。

「神輿会」は正式には武蔵小山商店街パルム青年部「神輿会」ということになっているが、要するに神輿好きが集まってつくったというだけのことで、最初から商店街振興を目的としていたわけではない。最初に集まったのはいずれもこの町生まれの二代目層で、武蔵小山の場合はちょうど親の世代が戦後の商店街をつくってきた一代目で、子供の世代が神輿の中心になったいわゆる「団塊の世代」であった。当初は30人ぐらいいたが、その後商店街を抜けたり、店を他の人に貸したりといったことがあって次第に減少し、現在では15人ぐらいになっている。その後、結果として「世代交替」が進んでいった。「団塊の世代」以降になると、商店街の中で層としてまとまるだけの数が揃わなくなっていく。そのため300人近くの担ぎ手を必要とするパルムの神輿を自分たちだけで上げるのは不可能なので、他の同好会などと提携したうえで、担ぎ手は祭礼当日に一般公募で募集している。

参考：<1996 流通経済大学社会学部 社会調査実習>

副会長 市川

お急ぎ下さい。今年分の持ち半纏の注文は6月20日まで！

毎年貸し半纏が不足しています。

神輿を担ぐ人は、可能なかぎり持ち半纏の作製をお願いします。

会員には5千円の補助があります。非会員でも注文時に会員登録（年会費千円）を行えば補助の対象となります。

補助金を差し引いた実価格（税込み）は、紬で17,850円、綿で13,650円です。

申込みは事務局または役員までお願いします。
締め切りは6月20日



『編集後記』

年3回の発行予定でしたが、何と1年振りの発行になってしまい申し訳ありませんでした。今年度は頑張りたいと思っていますので、よろしくお願いします。

毎年、直会（なおい）会場を飾っている名入りの献灯提灯見事ですよね。他の町会や近隣の住民の方々からも、すばらしい！と評判になっています。（特に夜は最高！）毎年、役員が苦心して飾っています。会場で一杯飲みながらでも、ぜひ眺めてみて頂ければ幸いです。

この「鳳和會便り」について、ご意見ご感想がありましたら、ぜひ事務局までお寄せ下さい。

パソコンをお持ちの方はメールアドレスをお知らせ下さい

「鳳和會便り」及び会からのお知らせ等は、現在会員宅に直接配布または郵送をしていますが、パソコンをお持ちの方にはメールでの配信をしています。現在お持ちのメールアドレス（PC用）がある方は事務局までお知らせ下さい。また感想、ご意見等がありましたら気軽にお知らせ下さい。よろしくお願い致します。（事務局）

事務局

電話 070-5020-4932
(13:00~21:00)

FAX 03 3783 8027